



※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、イベントや開館日が変更となる場合があります。

お知らせ

新生活は図書館とともに！



新しい出会いの季節、図書館のある生活を始めてみませんか？
読みものだけでなく「知の宝庫」で、皆様をお待ちしています！

▶その1 県立図書館の利用券をお持ちですか？

県内在住又は在勤・在学の方は作成できます。作成の際は、お名前・ご住所が確認できる本人確認書類をご持参ください。 *市町立図書館の利用券とは異なります。

▶その2 他の図書館と資料のやり取りをしています！

県立図書館に所蔵がない資料は、県内の市町立図書館や県外の都道府県立図書館等から取寄せできます。お探しの資料が見当たらないときは、職員にご相談ください。

また、県立図書館や県内市町立図書館等の資料を、お近くの市町立図書館まで取寄せできます。利用方法は図書館ごとに異なりますので、取寄せを希望する図書館でご相談ください。

*資料の状態等により、取寄せできない場合があります。



▶その3 県立図書館で借りた資料を、お住まいの市町立図書館窓口で返せます！（県内に限る）

県立図書館で借りた資料（県立図書館所蔵資料に限る）を、お住まいがある市町の図書館で返却できる制度があります。専用の袋や伝票が必要となりますので、制度利用を希望する場合は、資料の貸出時に職員へお申し出ください。 *貸出時にお申し出がない場合、本制度は利用できません。

▶【重要】図書館サービスの緩和について

新型コロナウイルス感染症対策のため行ってきた図書館サービスの制限を、令和5年(2023)4月1日から大幅に緩和します（鑑賞室・休憩室の利用再開、各種端末の利用時間緩和、学習室の申込制廃止等）。詳しくは当館ホームページのお知らせをご覧ください。

実施報告

第38回 日産 童話と絵本のグランプリ 大賞受賞作品寄贈式

「第38回 日産 童話と絵本のグランプリ」の童話大賞作品「木箱の蝶」と絵本大賞作品「みかんきょうだいのたんけん」が日産栃木会から寄贈されました。

当館では、地下1階・読書活動支援室に「日産 童話と絵本のグランプリ 受賞作品コーナー」を設け、これまでの受賞作品を展示しています。

第38回 日産 童話と絵本のグランプリ

【童話大賞】「木箱の蝶」(藪口莉那/作)

【絵本大賞】「みかんきょうだいのたんけん」(ホソカワレイコ/作)

第394号の
主な内容

- ・図書館の利用案内…p.1
- ・日産童話と絵本のグランプリ大賞受賞作品寄贈…p.1
- ・R5年度県民ライブコンサート開催予定…p.2
- ・ロビー展示「高校生読書推進関連展示」…p.2
- ・R4子どもの読書ボランティアスキルアップ研修実施報告…p.2
- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・消防避難訓練実施報告…p.3
- ・＜連載＞司書の目(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4



コンサート

令和5(2023)年度県民ライブコンサート開催予定

今年度も県民ライブコンサートを開催します。昨年度と同様に事前申込制(各公演80席程度・申込順)となりますので、館内で配布される各公演チラシをご確認のうえお申込みください。チラシは各公演日の概ね1か月前から配布する予定です。

第1回	津軽三味線とアコースティックギターによるコンサート
日時	令和5(2023)年6月22日(木) 14時30分開場 15時開演
会場	栃木県立図書館1階ホール
主演者	山崎(やまさき)
曲目	日光和楽踊、那須音頭、芳賀の子守歌 等

令和5(2023)年度開催予定

- 1 津軽三味線とアコースティックギターによるコンサート
6月22日(木) 山崎
- 2 大木朋香ピアノコンサート
8月24日(木) 大木朋香
- 3 フルートアンサンブルによるコンサート
10月26日(木) Amitié Flute Ensemble

ロビー
展示

もっと心躍る読書体験を！～高校生読書活動推進事業 関連展示～

県生涯学習課主催の「高校生読書活動推進事業」に、県立図書館職員がアドバイザーとして参加しています。4月27日～5月10日の「こどもの読書週間」に合わせて、1階ロビーで同事業を紹介する展示を行います。

■読書コンシェルジュ育成・活動支援

本や読書の魅力を伝える高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」の育成・活動支援に取り組んでいます。

■伝えよう！本の魅力コンテスト

県内の高校生等を対象に、ポップ部門、ツイッター部門の2部門で、おすすめの本を紹介する作品を募集。読書コンシェルジュ経験者が審査を行います。R4伝えよう！本の魅力コンテスト ポップ部門 最優秀作品



■全国高等学校ビブリオバトル栃木県大会

発表者がおすすめ本を5分間で紹介し、観戦者の投票で「一番読みたくなった本」を決める、本の紹介バトル。全国大会への切符がかかる大会でもあります。

≫NEXT 栃木県誕生150年を記念し、6・7月には関連展示を行う予定です。



実施
報告

令和4(2022)年度 子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修

県立図書館では、子どもの読書ボランティアへ指導・助言を行う「子どもの読書ボランティア指導者」の養成及び登録指導者の派遣を行っています。現在は新規の指導者養成を休止し、登録指導者のスキルアップ研修を連続講座として開催しています。

令和4(2022)年度は、全5回のうち2回を公開講座とし、広く関心のある方に受講いただきました。

令和5(2023)年度も同様に開催予定です。

【第1回】講演「ブックスタートの20年とこれから」

NPOブックスタート 安井 真知子 氏〔公開講座〕

【第2回】講義「読書ボランティアと著作権」「学校と地域の連携・協働」 県職員

【第3回】講話「本の世界を広げる」(福)芳雄会司書 伊藤 明美 氏

【第4回】グループワーク「読み聞かせミニブックトーク」 ※講師は第3回に同じ

【第5回】講演「SNS時代の子どもと読書」 白鷗大学教授 浅木 尚実 氏〔公開講座〕



〈館長コラム〉



「ロスタイム」から「アディショナルタイム」へ

年の初め、この3年間のロスタイムを何とか取り戻したいと綴られた賀状をいただき、また、別の知人からも同様の思いに少し焦っているとの話がありました。空費した時間の埋め合わせをと望む気持ちは、私だけではない、他の皆さんも抱いているのだと少しほっとしました。

ロスタイムという言葉はサッカーで知りました。特に1993年のワールドカップアジア地区最終予選で目にしたドーハの悲劇は、「ロスタイム」を強く印象づけました。あの絶望的なシーンは記憶に刻まれ、ロスタイムには一層ネガティブなイメージが付いてしまったのだと思います。ところが、2000年代に入り、この言葉が次第に「アディショナルタイム」に取って代わるようになると、同じ時間の持つ意味が違って感じられるようになりました。この追加された時間に何かしらの期待感を抱くようになったのです。ひょっとすると奇跡的なことが起こるかもしれない、あきらめるのはまだ早いといった、前向きな感情が生まれてきたのです。

この機会に時間について考えてみよう、手に取った一冊は、ミヒヤエル・エンデ著、大島かおり訳『モモ』です。半世紀も前に、作者は、急速な社会変化の中で効率化が重視され人の心が殺伐としていく世の中に警鐘を鳴らしていた訳です。「時間とは、生きるということ、そのものなのです。そして人のいのちは心を住みかとしていのです。」この物語に込められた作者のメッセージを受け止めながら、私もモモと一緒にいるような穏やかな気持ちになれました。いよいよ始まる新年度にどんな時間を過ごすことになるか、すべては自分の心の有り様次第ということです。

(栃木県立図書館長)

お知らせ

毎月第3日曜日はふれあい育む「家庭の日」です

家族みんなで過ごす機会をできるだけ多くもつことで、絆を深め、明るく楽しい家庭づくりを進めるきっかけとするため、県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。

「家庭の日」には家族と一緒に本を読み、感想を話し合う時間を持つてみてはいかがでしょうか。

栃木県ホームページ 毎月第3日曜日はふれあい育む「家庭の日」

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/life/seishounen/seishounen/kouhou/kateinohi-main.html>



毎月第3日曜日は「家庭の日」

実施報告

消防避難訓練を実施しました

来館者の安全を守るため、宇都宮市中央消防署の指導のもと消防避難訓練を1月17日に実施しました。火災発生を想定し、消防署への通報及び初期消火、館内放送と来館者の避難誘導の総合訓練を行いました。ご協力いただきました来館者の皆様、ありがとうございました。



〈コラム〉
司書
の目

わたしの1冊 読んでみませんか？

『不自然な死因 イギリス法医学者が見てきた死と人生』
(リチャード・シェパード／著 大和書房 2022)

司書が日常の中で接した
本から、おすすめの1冊を
ご紹介します。

殺人事件や災害のような事故が起きたとき、そこには必ず法医学者の存在があります。身元の特定や、正確な死因を判別しなければならないからです。

最近では「アンナチュラル」(2018/TBS)、「監察医朝顔」(2019/フジテレビ)などの法医学を題材にしたドラマが放映されていたことから、馴染みがある方も多いのではないのでしょうか。

本書は法医学者(本文中では法病理学者)である著者が、実際に経験してきた事件や災害の様子を詳しい見解で綴るノンフィクションです。ダイアナ元皇太子妃の事故の検証に携わったことでも有名で、その章はまるで事故現場を直接見たかのような筆致に驚かされます。

また、検死のことだけでなく、著者自身のプライベートや幼少期なども赤裸々に描かれているので、自伝としても読むことができます。家に帰っても焼く前の肉にナイフを刺して切り傷の実験をしていた、というエピソードからは彼の飽くなき研究心がうかがえます。

法医学者はいかにして法医学者になるのか。何万件もの遺体と向き合った先に何があるのか。法医学者の人生を通して、「命」の尊さを知ることができる一冊です。(東)



イベント案内

■県民ライブコンサート

津軽三味線とアコースティックギターによるコンサート
6月22日(木) 山崎(やまさき)
(1Fホール 午後2時30分開場 事前申込制)

■館内展示

1F ロビー

・もっと心躍る読書体験を！
～高校生読書活動推進事業 関連展示～

B1F 読書活動支援室

・さまざまな訳で読む名作1 不思議の国のアリス
・かこさとの科学読みもの
・かいけつゾロリ ギネス記録認定！

2F 公開資料室

・障害とコミュニケーション～よむ・きく・はなす～

3F 地域資料室

・栃木県文化功労者 北口英雄氏・佐藤則武氏
・(美術館連携)川島理一郎展―描くことは即ち見る
こと(4月中旬～)
・(博物館連携)甲殻類ワールド(4月下旬～)

4F 公開資料室

・パンダ来日50周年！
・第168回芥川賞・直木賞
・追悼 大江健三郎氏
・令和4年度文学賞受賞作

図書館カレンダー ※□は休館日です。太字の日は県庁地下駐車場が利用できません。
開館日のサービスを変更する場合があります。詳しくはHP等でご確認ください。

4	日	月	火	水	木	金	土
							1
APR	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

5	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
MAY	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

6	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
JUN	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	



栃木県立図書館報
図書館だより 第394号
発行日 令和5(2023)年4月



発行 栃木県立図書館
〒320-0027 宇都宮市埜田1-3-23
TEL 028-622-5111(代表)
E-mail : tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp
HP : http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/